

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 岐阜県可児郡御嵩町教育委員会
2. 研究主題 : 調査研究Ⅱ
3. 研究タイトル : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化

4. 研究課題

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題
 ①学力向上 ②体力向上 ③歯科保健活動 ④防災教育
 ⑤保・小・中の連携
 「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題
 ①小規模特認校の推進 ②放課後子ども教室の設置・運営
 ③スポーツ少年団の参加率向上

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

町教育委員会は、「21世紀御嵩町教育・夢プラン」の第三次改訂の中で、小規模特認校を推進する方針を出した。その背景には、上之郷地区の保護者・地域からの学校存続への要望に真摯に応えるとともに、少人数でのよさ（子ども達が家族的な温かい人間関係の中、自己有能感を味わいながら持てる力を遺憾無く発揮できるし、個に応じたきめ細やかな支援ができる。）を生かし、5つの研究課題（学校の教育課題）を追求する実践は、県内外で小規模校存続を検討している学校に参考となると考える。また、小規模校のデメリットを最小化するために、町教育委員会は児童数増加を願って小規模特認校制度を推進するとともに、児童の集団の多様性と社会性を涵養する機会を広げるために、放課後子ども教室の設置と魅力ある運営、スポーツ少年団の参加率向上に努める施策を講じ、研究を検証していく。

(2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

4月	研究課題に関わる校内体制と進め方及び、教育委員会の体制整備に対する共通理解を図るとともに、推進会議の持ち方を検討した。PTA総会で本事業の取組について理解・支援を求めた。
	「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって ①学力向上 ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着 ・全学年で前時の学びの見届けをするため、授業の初めに「振り返り学習（約5分）」を位置づけること。利用する学習プリントの作成と採点は、支援員（町費雇用臨時職員）2名が行うことを確認する。 ・週1回の朝の計算スキル（10分）には、支援員・教務主任・教頭が各学年に入り指導することを確認する。 イ 「書く力」の着実な定着 ●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導 ・各月毎に日記や作文のテーマと授業との関連がわかる「書く指導一覧」を作成し、交流していくことを確認する。 ・6年生の指導事例と学級通信から互いに学び合った。 単元『笑うから楽しい』より、文中の3つの表現を作文に入れることを課題にして書かせた。適切に使えている児童の作文を学級通信に載せ、広めることで他の児童も次第にその表現が使えるようになってきた。 ●「書くこと」にかかわる指導実践 ・1年生活「アサガオのかんさつ」（5～9月） 2年生活「ミニトマトのかんさつ」（5～9月） 5年国語「季節の言葉を使った詩」 総合的な学習「田植え新聞」 6年総合的な学習「俳句：茶摘み」

	<p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け 5月 前期の体育館と運動場での補助運動の仕方について職員の共通理解と児童への指導を体育主任が行った。</p> <p>イ スポーツテストの実施 5月上旬にスポーツテストを行った。事前にテストの仕方を何度も練習して臨んだ。業者に分析依頼。</p> <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業 （例）1年 単元「遊具で遊ぼう」グラウンドの遊具・雲梯などに親しんだ。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び （例）1年 おにごっこ</p>
5月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアジェル（異学年との給食交流後に歯みがきを学び合う） 5月20日（1・6年）、16日（2・5年）、23日（3・4年） ・学校歯科医、歯科衛生士による「歯型づくり」（6年生）5月26日 ・歯科衛生士による「親子ブラッシング」（1年生・保護者）5月30日
	<p>④防災教育</p> <p>ア 防災学習（命を守る訓練②）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/11「不審者侵入対応訓練」 <p>朝の活動「不審者が来たときの合言葉」「避難の仕方について」一斉指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で振り返り（シート） ・5月10日 防災クラブ「災害について学ぶ（パソコン室で調べ学習）」 <p>イ 学級活動・保健学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月17日 6年生「地震が起きたらどうするの～家庭科室～」実施
	<p>⑤保・小・中の連携</p> <p>ア 保・小の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回幼保小長会で保育園との年間連携計画と重点事項を共通理解する。5/31 ・4・5月分のスタートカリキュラムを整理する。 <p>イ 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・第1回上之郷小中交流会において連携構想及び1年間の取組について共通理解を図る。4/28 ・中学校の茶摘み体験に今年から6年生が参加する。5/13
	<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進</p> <p>広報「ほっとみたけ」5月号に平成29年度より上之郷小学校が小規模特認校として新しく学校づくりが始まることを紹介した。</p>
	<p>②放課後子ども教室の設置・運営</p> <p>上之郷小学校に「放課後子ども教室」を開設し、月2回実施することになった。5月は「スポーツ・読み聞かせ」と「尺八・詩吟」を実施した。</p>

	<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 土日に上之郷小学校の児童が他校の子と一緒にスポーツを通して交流する機会の持ち方について、みたけスポーツ・文化倶楽部と協議する。</p>
	<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上</p> <p>ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）を実施する。 ・休み時間等での個別指導を実施する。 ・1年生児童が「足し算・引き算名人（繰り上がり・繰り下がりのない）」をめざして、休み時間に職員室・校長室を訪れ試験を受ける。（6月中旬～） <p>イ 「書く力」の着実な定着</p> <p>●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の指導事例から学び合った。 <p>単元『かんさつ名人になろう』より、観察の視点、比喩表現を指導。チェック項目を児童にも分かりやすくカードにし、それらを使って作文を書かせた。</p> <p>●「書くこと」にかかわる指導実践</p> <p>2年生生活「まちたんけん」4年社会「ささゆりクリーンパーク新聞」 漢字検定の問題見本を参観日に展示・漢字検定受験者募集</p> <p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け</p> <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業</p> <p>（例）2年 単元「遊具サーキット」グラウンドの遊具・雲梯・ジャングルジムを登り下り、ぶらさがり足じゃんけん、懸垂移動などをサーキット形式で回った。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び</p> <p>（例）4年 ドッジボール</p>
	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p>ウ 実地審査に向けた取り組み</p> <p>岐阜県学校歯科保健優良校調査票 作成 6月27日～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科医、歯科衛生士参加「学童歯みがき大会」（5・6年生）6月3日 ・歯科衛生士による「RDテスト」（5年生・保護者）6月16日 ・歯科衛生士による「全校ブラッシング指導」（1～6年生）6月23日
6月	<p>④防災教育</p> <p>ア 防災学習（命を守る訓練③）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/8「緊急時引取訓練」 <p>朝の活動「緊急時引取のねらいや仕方を知ろう」各学年で指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期避難所運営訓練（職員で実施） ・学級で振り返り（シート） ・6月9日 防災クラブ「養護教諭から簡易担架・止血法・骨折の手当てについて学ぶ」 ・6月23日 防災クラブ「JRCから心配蘇生法を学ぶ」 <p>イ 学級活動・保健学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月8日 3年生「落雷から身を守るう」実施 ・6月14日 4年生「地震が起きたらどうするの～理科室～」実施 ・6月15日 5年生「傷の手当（基本編）」実施 ・6月17日 5年生「傷の手当（応用編）」実施 ・6月28日 5年生「地震が起きたらどうするの～海岸編～」実施

⑤保・小・中の連携

ア 保・小の連携

- ・第1回学校運営運営協議会に保育園職員が参加。6/6
- ・緊急時引取訓練を保・小・中で合同で行う。6/10
- ・第1回上之郷小学校区防災教育推進委員会に保育園職員参加。6/21
- ・生活科：小単元「みんなのこうえんであそぼう」において保育園の園庭と公園に見立てて園児と交流をする。6/29

イ 小・中の連携

- ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。
- ・緊急時引取訓練を保・小・中で合同で行う。6/10
- ・第1回上之郷小学校区防災教育推進委員会に中学校職員参加。6/21

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって

①小規模特認校の推進

小規模特認校制度の理解啓発とともに保護者向け「見学会の案内文書」の内容を検討するとともに、案内文書の配布時期、見学会の日時、転入学決定の手順等を学校と協議する。

②放課後子ども教室の設置・運営

6月は「英語・盆踊り」を2回実施した。「盆踊り」は7月開催の上之郷公民館祭りで地域の方と一緒に踊りに親しむことを願って実施した。

③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養）

みたけスポーツ・文化倶楽部と学校・教育委員会と協議の結果、御嵩町スポーツ少年団常任理事会を臨時に開催し、スポーツ交流会について協議することを確認する。先行的に「御嵩サッカー」が上之郷小学校でスポーツ交流会を実施する。

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって

①学力向上

ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着

- ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。
- ・第1回計算大会を7/1に実施する。自己課題を明らかにさせるとともに、確実な定着と見届けをするために2学期初めに同じ問題を実施する予定であり、したがって夏休みに同じ問題を渡し課題とする。
- ・1年生児童が「足し算・引き算名人（繰り上がり・繰り下がりのない）」をめざして、休み時間に職員室・校長室を訪れ試験を受ける。（7月中旬迄）

イ 「書く力」の着実な定着

●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導

- ・1学期の指導について各学年のまとめを作成した。

●「書くこと」にかかわる指導実践

4年生社会「浄水場新聞」 3年国語「夏の詩」 5年生総合的な学習「マリン（宿泊研修）新聞」国語「季節の言葉を使った詩」 6年国語「夏休み俳句：今日の日」
漢字検定に向けて学習の仕方指導・学習用問題集貸し出し開始

②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）

ア 体育の授業の補助運動の位置付け

イ スポーツテストの分析の活用

- ・課題である「筋力・敏捷性・全身持久力」に関わる伸び・課題を整理する。
- ・成果と課題について児童と懇談し、夏休みの運動づくりについて助言する。

ウ 各学級で重点を置いた体育の授業

（例）2年 単元「みずあそび」

水泳講師の指導を受け、わにさん、宝さがし、だるま浮き、スーパーマン浮きなどを行った。

エ 各学級で大切にしたい学級遊び

（例）5年 ドッジボール 週に3回行った。

*水泳指導：講師より各学年2回実施する。

7月	<p>③歯科保健活動 <u>ア</u> 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p><u>イ</u> はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p><u>ウ</u> 実地審査に向けた取り組み 岐阜県学校歯科保健優良校表彰調査票提出 7月15日</p> <p>・ペアジェル（異学年との給食交流後に歯みがきを学び合う） 7月4日（2・5年） 12日（1・6年） 19日（3・4年）</p> <p>・夏休みの歯科保健に関する宿題 親子歯みがきカレンダー（PTA母親委員会で作成）、カラーテスト、歯と口の標語</p>
	<p>④防災教育 <u>ア</u> 防災学習（命を守る訓練④）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/8「着衣泳」 <p>朝の活動「水の恵」「水の危険性」ビデオ視聴と指導 緊急地震速報実施予告「朝の会前の地震」→実施日7日8日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で振り返り（シート） ・7月19日 防災クラブ「1年間の見通しと防災訓練での内容を計画する」 <p><u>イ</u> 学級活動・保健学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月8日 4～6年生「着衣泳」実施
	<p>⑤保・小・中の連携</p> <p><u>ア</u> 保・小の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園主催の「縁日ごっこ」に放課後児童クラブが参加。小学校職員参観。 ・保育体験で「マット・跳び箱」の授業参観と給食後の「歯みがき指導」の研修に参加する。7/21 <p><u>イ</u> 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。
	<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進 見学会の際、保護者に学校の教育活動を理解してもらうためにプレゼンや映像等による「学校紹介」を学校が作成することを確認する。</p>
	<p>②放課後子ども教室の設置・運営 7月は「読み聞かせ・英語」を1回実施した。</p>
	<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 御嵩町スポーツ少年団臨時理事会で「上之郷小学校スポーツ交流会」に少年団として協力することが了承される。交流会は9月から実施すること。「テニス」「サッカー」「野球」は上之郷小学校で各1回実施すること。「バレー」は上之郷中学校体育館で2回実施すること。「柔道」は道場で随時見学・交流すること。主催は教育委員会であることを確認する。</p>

	<p>8月8日(月) 第1回 少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進委員会開催</p> <p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上</p> <p><u>ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めの「振り返り学習(約5分)」と週1回の計算スキル(10分)及び休み時間等での個別指導を実施する。 ・第2回計算大会を8/29に実施する。第1回目と同じ問題であるため、個々の課題克服状況が明らかになるとともに、個別指導の在り方について職員で共通理解を図った。 <p><u>イ 「書く力」の着実な定着</u></p> <p>●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期の指導を交流し、教科書に合わせて2学期の指導計画を作成した。 <p>●「書くこと」にかかわる指導実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校「読書感想文」「歯みがき標語」 ・夏休みの日記やノートの内容や書き方が手本となる児童の表彰 ・漢字検定に向けて各自学習 <p>②体力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中のプール開放では、10日間実施し、平均58.3人が出席した。出席率74%と高い。 ・5・6年生は、運動会の組み立て体操の準備のため、倒立・十字バランスなどを夏休み中の家庭での課題とした。 <p><u>イ スポーツテストの分析の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級ごとに「スポーツテスト分析結果に基づく対応」シートを作成し、それに基づいて、2学期からの「補助運動の在り方」や「学校・家庭生活での運動遊びの取組ませ方」について研修を行った。 <p>8月 ③歯科保健活動</p> <p><u>ウ 実地審査に向けた取り組み</u></p> <p>実地審査当日資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰者選考 8月30日 <p>⑤保・小・中の連携</p> <p><u>ア 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回学校保健安全委員会に保育園職員が参加。8/4 ・第2回学校運営協議会に保育園職員が参加。8/8 ・学校運営協議会主催研修会に保育園職員が参加。8/9・10 ・第2回上之郷小学校区防災教育推進委員会に保育園職員参加。8/25 <p><u>イ 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・第2回上之郷小中交流会において「学習習慣部会」と「生活習慣部会」に分かれて分科会・全大会を行う。8/23 ・第2回上之郷小学校区防災教育推進委員会に中学校職員参加。8/25 <p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進</p> <p>教育委員会で作成した「学校見学会案内文書」の内容について学校と最終確認をする。</p> <p>②放課後子ども教室の設置・運営</p> <p>夏休みの為、開催無。</p>
--	--

	<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 各スポーツ少年団の代表者が交流会のどの時期にどの少年団が活動するのか協議する。また、みたけスポーツ・文化倶楽部より、体験会の実施の提案があり、交流会の中に位置付けることになる。</p>
	<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上</p> <p>ア <u>算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 <p>イ <u>「書く力」の着実な定着</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</u> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の指導事例から学び合った。 夏休みの宿題として、1学期に学習した内容をふまえて書かせた。テーマを「楽しかったこと、感動したこと」「気になったニュース・そこから考えたこと」「おススメの本の紹介」「2学期の決意」とし、単元『』『』で学んだことを意識するようにした。 ● <u>「書くこと」にかかわる指導実践</u> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生生活「虫のかんさつ」2年生生活「うごくおもちゃ」4年総合的な学習「防災センター新聞」 ・漢字検定当日の流れを説明・模擬試験
	<p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア <u>体育の授業の補助運動の位置付け</u></p> <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業 （例）6年 単元「組み立て体操」 運動会に向け、倒立、V字バランス、十字バランス、ウェーブなどを行った。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び （例）2年 おにごっこ</p> <p>オ 児童会が中心になった全校仲良し遊び 運動会全校児童種目「上之郷小学校全校リレー」の練習（バトンパス・走り方など）を行い、運動会当日には練習の成果を発揮した。</p>
9月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア <u>日常的な指導</u>（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ <u>はぴカ</u>（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p>ウ <u>実地審査に向けた取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地審査対象校の連絡 9月12日 ・歯科衛生士による「ブラッシング方法」の復習 9月21日～ ・朝の時間、給食後の歯の染め出し 9月20日～ ・給食後の歯みがき＋5分 9月20日～ ・夜ジェル（歯の染め出しジェルを各自持ち帰り、夜に染め出し）9月20日～ <ul style="list-style-type: none"> ・PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰 9月17日 ・歯と口の標語の表彰 9月30日

<p>④防災教育 ア 防災学習（命を守る訓練⑤）「名称：ぼうさい かみのごう」 ・9/4「御嵩町防災訓練へ参加」 朝の活動「防災訓練について知ろう」各学年で指導 緊急地震速報実施予告「体育館での地震」→実施日9日4日 ・初期避難所運営訓練を実施（職員・地域） ・学級で振り返り（シート） ・9月1日 防災クラブ「防災訓練の最終確認」</p>
<p>⑤保・小・中の連携 ア 保・小の連携 ・生活科：小単元「むしをさがそう」で園児を学校に招待して、一緒に虫をつかまえる活動をする。9/4 イ 小・中の連携 ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・町防災訓練に中学生が主体的に参加する。9/4</p>
<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって ①小規模特認校の推進 9月開催の学校運営協議会において、学校見学会で保護者に見てもらい「学校紹介（プレゼン・映像）」の内容を説明し、助言をいただくよう学校に依頼する。 ②放課後子ども教室の設置・運営 9月は「詩吟・尺八」「ハンドベル・英語」を実施した。 ③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 御嵩テニスとの交流会に6名の児童が参加する。当日は保護者も楽しく参加。<9/10（土）></p>
<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって ①学力向上 ア <u>算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</u> ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 イ 「書く力」の着実な定着 ●<u>国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</u> ・1年生の指導事例から学び合った。単元『しらせたいな、見せたいな』の学習より、10月から日記帳（あのねノート）を書き始めた。家族に知らせることを目的に、見つけたことを絵と文で書く。 ●<u>「書くこと」にかかわる指導実践</u> ・1年生生活「はっぱやみでつくろう」 2年生生活「生活科見学モンキーパーク」3年生社会「パロー（スーパーマーケット）新聞」 4年生社会「御嵩町づくり新聞」5年生総合的な学習「稲刈り新聞」「マリン新聞」を岐阜新聞コンクールに出品 全校「俳句（上之郷公民館文化祭り）」 ・10月21日漢字検定（27名受験・保護者1名含）</p> <p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成） ア 体育の授業の補助運動の位置付け ウ 各学級で重点を置いた体育の授業 （例）1年 単元「ボール遊び」 ボール投げ、ボール的当て、折り返しリレー投げなどプールに親しみながら投力を着ける運動を行った。 エ 各学級で大切にしたい学級遊び （例）6年 おにごっこを週に2回行った。</p>

10月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p>ウ 実地審査に向けた取り組み 実地審査 10月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアジェル（異学年との給食交流後に歯みがきを学び合う） 10月12日（3・4年） 18日（1・6年） 25日（2・5年） ・歯科衛生士による「歯と全身の健康（学級活動）」（6年生）10月20日
	<p>④防災教育</p> <p>ア 防災学習（命を守る訓練⑥+⑦）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/14「濃尾地震」 <p>朝の活動「濃尾地震を知ろう」「直下型地震の特徴」ビデオ視聴と指導 緊急地震速報実施予告「昼休み中の地震」→実施日10日14日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日～15日 防災キャンプ 4年生「避難所体験」「非常食体験」「パーティション作り」「心配蘇生法・AED」「災害枕作り」「防災歯みがき」の実施 ・10月15日 親子防災学習「親子での緊急伝言ダイヤル使い方を学ぶ」「非常食とハイゼックス試食」 ・学級で振り返り（シート） ・10月18日 防災クラブ「スクールバス非常口からの避難体験」 <p>イ 学級活動・保健学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月14日 4年生「防災キャンプについての取組」実施 ・10月27日 3年生「地震が起きたらどうするの～図工室～」実施
	<p>⑤保・小・中の連携</p> <p>ア 保・小の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回上之郷小学校区防災教育推進委員会に保育園職員参加。10/3 ・1・2年生の体育の授業参観と給食試食・懇談会の実施。10/11・12 ・第3回学校運営協議会に保育園職員が参加。10/3 <p>イ 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・第3回上之郷小学校区防災教育推進委員会に中学校職員参加。10/3 ・第3回上之郷小中交流会：中学校の授業参観及び「学習と生活」について進捗状況について交流する。10/24
	<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進 「学校見学会案内文書」を町内の小学校で開催する就学時健康診断の日に保護者に配布する。それとともに、御嵩町のホームページとポータルサイト「みたけ暮らし」にアップする。</p>
	<p>②放課後子ども教室の設置・運営 10月は「英語・読み聞かせ」「民謡・太鼓・三味線」を実施した。</p> <p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 御嵩サッカーとの交流会に6名の児童が参加する。楽しく基礎を学び誰もがボールと友達になっていた。<10/22（土）></p>

	<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関して</p> <p>①学力向上</p> <p>ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 ・1年生児童が「足し算・引き算名人（繰り上がり・繰り下がりのある）」をめざして、休み時間に職員室・校長室を訪れ試験を受ける。（11月中旬～） ・2年生児童が「九九名人」を目指して休み時間に職員室にいる先生から試験を受ける。（11月下旬～） <p>イ 「書く力」の着実な定着</p> <p>●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生の指導事例から学び合った。『こんなもの、見つけたよ』『しかけカードの作り方』『あったらいいな、こんなもの』より、句読点やかぎ、段落、はじめ・中・おわり、つなぎことばの使い方指導について。 <p>●「書くこと」にかかわる指導実践</p> <p>1年生生活「あきみつけ」「おもちゃをつくろう」「せいかつかまつりたのしかったよ」 4年国語「クラブ活動紹介パンフレット→3年生に向けて発表 5年社会「トヨタ新聞」国語「季節の言葉を使った詩」 6年国語「俳句：修学旅行」 全校「笑顔づくり標語」</p> <p>漢字検定結果通知</p>
	<p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け</p> <p>イ スポーツテストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月実施のスポーツテストの内容について共通理解を図る。「その結果「握力・全身持久力」は6学年共通して測定し、1種目は「学年の課題」を測定することになる。 <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業</p> <p>（例）4年 単元「ハードル走」</p> <p>アスリート出前指導をきっかけに、「ワン」「ツー」「ワープ」のかけ声を出しながらハードル間を3歩でリズムカルに走り、ハードルを素早く越す運動を行った。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び</p> <p>（例）1年 童歌遊び（花いちもんめ、かごめなど）を行った。</p> <p>オ 全校一斉運動</p> <p>20分休みに、全校持久走を行った。（低学年3分程度、中学年4分程度、高学年5分）</p>
11月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p>ウ 実地審査に向けた取り組み</p> <p>実地審査結果「小規模校の部：準県一位」受賞 11月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピカリンピック（低・中・高で誰が一番きれいに歯みがきができるか競う歯のオリンピック全7回）①11月15日 ②17日 ③18日 ④21日 ⑤22日 ⑥25日

<p>④防災教育 ア 防災学習（命を守る訓練⑧）「名称：ぼうさい かみのごう」 ・ 11/4「津波防災の日」 朝の活動「津波防災の日を知ろう」「防災歯みがきについて」ビデオ視聴と実演 緊急地震速報実施予告「掃除の地震」→実施日11月4日 ・ 学級で振り返り（シート） ・ 11月15日 防災クラブ「地震のメカニズムを知る（DVD視聴）」 ・ 11月28日 防災クラブ「減災について知る」</p> <p>イ 学級活動・保健学習 ・ 11月8日 2年生「地震が起きたらどうするの～多目的室～」実施 ・ 11月24日 5年生「地震が起きたらどうするの～音楽室～」実施</p> <p>* 11月30日：職員研修「HUG」：講師：岐阜大学非常勤講師</p>
<p>⑤保・小・中の連携</p> <p>ア 保・小の連携 ・ 生活科：小単元「みんなであそぼう」で園児を学校に招待して、秋のおもちゃを使って遊ぶ。11/29</p> <p>イ 小・中の連携 ・ 中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・ 中学校の合唱祭（12/17）に向けて、小学校より音楽専科の職員がT2として指導する。（3時間+合唱祭当日）</p>
<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進 学校見学会に3名の保護者が参加した。</p> <p>②放課後子ども教室の設置・運営 11月は「詩吟・尺八」と「読み聞かせ・英語」を実施した。</p> <p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 交流会なし。</p>
<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上 ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着 ・ 授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 ・ 1年生児童が「足し算・引き算名人（繰り上がり・繰り下がりのある）」をめざして、休み時間に職員室・校長室を訪れ試験を受ける。（12月中旬迄） ・ 2年生児童が「九九名人」を目指して休み時間に職員室にいる先生から試験を受ける。（12月） ・ 第3回計算大会を12/1に実施する。自己課題を明らかにさせるとともに、確実な定着と見届けをするために3学期初めに同じ問題を実施する予定であり、したがって冬休みに同じ問題を渡し課題とする。 ・ 冬休みに、4年生・5年生に標研式CDT（観点別学力到達診断）の補助プリントを課題とし自主学習をさせた。</p> <p>イ 「書く力」の着実な定着 ●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導 ・ 3年生の指導事例から学び合った。単元『秋の楽しみ』より、「今週の日記」チェック項目一覧を作成し、「主語・述語」「秋にかかわる言葉」に自分で線を引いて確認する。</p> <p>●「書くこと」にかかわる指導実践 ・ 1年生生活「やってみようおてつだい」 3年総合的な学習「じねんじょ新聞」国語「冬の詩」 6年「俳句：明治村」「冬休み俳句：今日の日」</p> <p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成） ア 体育の授業の補助運動の位置付け イ スポーツイベントの実施</p>

① へちまノノヘトの夫肥

- ・スポーツテストの結果と考察を整理する。

ウ 各学級で重点を置いた体育の授業

(例) 5年 単元「上小ベースボール」

柔らかいボール、柔らかいバットを使い、打ち方や捕り方に慣れ、チームやメンバーの良さを生かした作戦を立てゲームを行った。

エ 各学級で大切にした学級遊び

(例) 6年 おにごっこを行った。

オ 児童会が中心になった全校仲よし遊び

6つの仲よしグループで「長縄8の字跳び」を行った。5日間の仲よし遊びの後、仲よし競技会で競い合った。

*各運動器具を使った運動の仕方について低・中・高ごとに講習会を実施する。(講師:みたけスポーツ・文化倶楽部)

12月

③ 歯科保健活動

ア 日常的な指導 (給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施)

イ はピカ賞 (毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ)

- ・ピカリンピック (低・中・高で誰が一番きれいに歯みがきができるか競う歯のオリンピック全7回) ⑦ 12月2日
- ・ペアジェル (異学年との給食交流後に歯みがきを学び合う)
12月6日 (1・6年) 13日 (2・5年) 20日 (3・4年)
- ・歯科衛生士による「ピカリンピック」 (5・6年生) 12月2日
- ・歯科衛生士による「第2回ブラッシング指導」 (1～4年生) 12月9日
- ・冬休みの歯科保健に関する宿題
親子歯みがきカレンダー (PTA母親委員会作成)、カラーテスト

④ 防災教育

ア 防災学習 (命を守る訓練⑨) 「名称:ぼうさい かみのごう」

・12/2 「避難訓練・初期消火訓練」

「どこで・どうやって避難したのか」各学年で交流

緊急地震速報実施予告「登校後の地震」→実施日12月2日

・学級で振り返り (シート)

・12月12日 防災クラブ「紐 (本結び) について学ぶ」

イ 学級活動・保健学習

・12月6日 1年生「地震が起きたらどうするの～休み時間～」実施

・12月13日 6年生「災害から学び・広めよう」実施

⑤ 保・小・中の連携

ア 保・小の連携

・第2回学校保健安全委員会に保育園職員が参加。12/1

・消費者一貫教育として保育園が「お店屋さんごっこ」を実施。小学校職員が参観。12/6

イ 小・中の連携

・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。

	<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進 小規模特認校入学申請書を提出した3名の保護者（園児・児童同席）の面接を実施する。その後、学校から亭主された「受け入れに係る意見書」を参考にし、保護者に就学の可否について通知した。</p> <p>②放課後子ども教室の設置・運営 12月は「読み聞かせ・英語」を実施した。</p> <p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 御嵩・伏見・兼山野球との交流会に8名の児童が参加する。楽しく打てる補助具があり試合に興ずる姿が輝いた。<12/17（土）></p>
1月	<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上</p> <p>ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始業式に校長より「今年も3月に進級（卒級）テストを実施する。」ことを児童に話す。 ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 ・第4回計算大会を1/10に実施する。第3回目と同じ問題であるため、個々の課題克服状況が明らかになるとともに、個別指導の在り方について職員で共通理解を図った。 ・2年生児童が「九九名人」をめざして、職員室・校長室を訪れ試験を受ける。（1月中旬） ・2年生児童が3月の「進級テスト」を受ける資格をもらうために「〇〇先生（支援員）九九名人試験」に挑戦にする。（1月中旬から） ・県学力学習状況調査を行う。（4・5年生） ・標研式CDT（観点別学力到達診断） <p>イ 「書く力」の着実な定着</p> <p>●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の実践事例から学び合った。単元『文と文をつなぐ言葉』巻末『言葉の宝箱』より、冬休みの日記で、つなぎ言葉・言葉の宝箱の中の言葉を必ず使うよう指導した。 <p>●「書くこと」にかかわる指導実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生活『ふゆみつけ』『むかしあそび』 <p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け</p> <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業 （例）1年 単元「マット遊び」 マットを使って、ゆりかご、前転がり、横転がり、後ろ転がりなどの運動を行った。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び （例）4年 代わり鬼、けいどろを行った。</p> <p>オ 児童会が中心になった全校仲良し遊び 6年生が警察役、1～5年生が泥棒役で全校けいどろおにごっこを行った。</p> <p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰者選考 1月11日 ・PTA母親委員会「親子歯みがきカレンダー」表彰 1月31日 ・歯科衛生士による「ブラッシング指導」（5・6年生） 1月26日

<p>④防災教育 ア 防災学習（命を守る訓練⑩）「名称：ぼうさい かみのごう」 ・1/17「阪神・淡路大震災から学ぶ」 朝の活動「阪神・淡路大震災について知ろう」ビデオ視聴と指導 緊急地震速報実施予告「下校中の地震」→実施日1日20日 ・学級で振り返り（シート） ・1月24日 防災クラブ「紐（もやい結び）について学ぶ」 *1月20日：職員研修「DIG」：講師：岐阜大学非常勤講師</p>
<p>⑤保・小・中の連携 ア 保・小の連携 ・保育園主催の「お正月カルタ取り」に放課後子ども教室も参加する。1/6 イ 小・中の連携 ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。</p>
<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって ①小規模特認校の推進 小規模特認校入学申請書を提出した1名の保護者（園児・児童同席）の面接を実施する。その後、学校から提出された「受け入れに係る意見書」を参考にし、保護者に就学の可否について通知した。</p>
<p>②放課後子ども教室の設置・運営 1月は「英語・スポーツ」と「尺八・詩吟」を実施した。</p>
<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きなお子の育成）（社会性の涵養） 御嵩バレーの交流会に9名が参加する。御嵩バレーの子達と同じボールを使ってチームの一員として交流していた。<1/15（日）> ラグビー指導者による「タグラグビー体験会」に17名が参加。<1/22（日）></p>
<p>2月6日（月） 第2回 少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進委員会開催</p>
<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって ①学力向上 ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着 ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」と週1回の計算スキル（10分）及び休み時間等での個別指導を実施する。 ・県学力学習状況調査（4・5年生）と・標研式CDT（観点別学力到達診断）の結果に基づき成果と課題を明らかにする。 ・「進級テスト」の問題をどのようにしていくか職員間で共通理解を図るとともに、保護者に通信で知らせ、協力を依頼する。 イ 「書く力」の着実な定着 ●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導 ・3学期の事例について交流 ●「書くこと」にかかわる指導実践 ・1年生活「いいこといっぱい1年生」 2年国語「楽しかったよ、2年生」 5年国語「季節の言葉を使った詩」 6年「卒業文集」</p>

	<p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け</p> <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業 （例）3年 単元「跳び箱」 開脚跳びと台上前転を、助走を生かした両足踏切、安全な着手と強い突き放し、安全な着地を意識して運動を行った。</p> <p>エ 各学級で大切にしたい学級遊び （例）1年 おにごっこ、ころがしドッチ</p> <p>オ 全校運動 20分休みに、個人なわとびを行った。なわとびカードでチェックしながら、技能の向上を図った。</p>
2月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <p>・半日入学「5年生ブラッシング」（新1年生に染め出しをし、歯みがきの方法を教え、交流する）2月8日（新1年生・5年生）</p>
	<p>④防災教育</p> <p>ア 防災学習（命を守る訓練⑩）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/16「校舎の構造について学ぶ」を予定 朝の活動「シャッターについて知ろう」「土砂災害時での避難について知る」ビデオ視聴と指導予定 緊急地震速報実施予告「授業中の地震」→実施日2月16日 ・学級で振返り（シート） ・2月7日 防災クラブ「新聞紙での簡易スリッパの作成」 ・2月21日 防災クラブ「1年間を振り返って」
	<p>⑤保・小・中の連携</p> <p>ア 保・小の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回学校運営協議会に保育園職員が参加。2/6 ・御嵩町幼保小長会において本年度の成果と課題を明らかにする。 ・第3回学校保健安全委員会に保育園職員が参加。2/23 <p>イ 小・中の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・来年度も引き続き中学校の音楽・算数の専科によるT2の指導が可能かどうか協議する。
	<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進</p> <p>来年度に向けて、小規模特認校としてスタートした上之郷小学校を教育委員会から町内にどのような形で発信するか検討する。学校見学会の期日について学校側と協議し、決定するとともに見学会案内文書の見直しを図っていく。</p>
	<p>②放課後子ども教室の設置・運営</p> <p>2月は「英語・読み聞かせ」と「スポーツ・読み聞かせ」を実施する予定である。</p>
	<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養）</p> <p>フェンシング指導者による「フェンシング体験会」に21名が参加予定。<2/18（土）>御嵩バレーとの交流会の予定。<2/19（日）></p>

	<p>「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題に関わって</p> <p>①学力向上</p> <p>ア 算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の初めの「振り返り学習（約5分）」から個々の成果と課題を明らかにする。 ・週1回の計算スキル（10分）をやりきって次学年に迎えるよう、個別指導を重視する。 ・各調査等の結果を踏まえ、「技能」「考え方」「知識・理解」のどの観点で定着を見届けていくのかわかるようにする。 <p>イ 「書く力」の着実な定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語の授業の学びを日記・作文に関連付けた指導 ・3学期のまとめと年間計画の見直し及び引継 ●「書くこと」にかかわる指導実践 ・次年度の参考資料の選定と引継
	<p>②体力向上（筋力・敏捷性・全身持久力の向上）（運動好きな子の育成）</p> <p>ア 体育の授業の補助運動の位置付け</p> <p>イ スポーツテストの実施・結果分析の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の全校課題と補助運動・授業において重視する単元の明確化及び学級遊び・全校仲よし遊びについて共通理解を図る。 <p>ウ 各学級で重点を置いた体育の授業</p> <p>（例）1年 単元「力試しの運動あそび」</p> <p>相手と押し合い、引き合い運動を行ったり、自分の体を支える運動を行った。</p>
3月	<p>③歯科保健活動</p> <p>ア 日常的な指導（給食後の歯みがき・フッ化物洗口・毎週火曜日ジェルの日、月1回歯ブラシ点検の実施）</p> <p>イ はピカ賞（毎月1～2回朝に歯みがきのチェックを行い歯みがき名人を選ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアジェル（異学年との給食交流後に歯みがきを学び合う）実施予定 ・学校歯科医、歯科衛生士による「卒業前歯の審査」（6年生）3月9日
	<p>④防災教育</p> <p>ア 防災学習（命を守る訓練⑫）「名称：ぼうさい かみのごう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/10「避難訓練 Final」を予定 <p>朝の活動「東日本大震災について知ろう」「津波の怖さについて」ビデオ視聴と指導</p> <p>緊急地震速報実施予告「給食時の地震」「休み時間の地震」複数回実施予定→実施日3日10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で振り返り（シート）

<p>⑤保・小・中の連携</p> <p><u>ア 保・小の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科：小単元「あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう」で園児を学校に招待して、「ゲーム」「給食会」「なかよし歯みがき」を行う。3/8 ・学習指導要領の改訂に伴い、「育ちの10の姿」を加味したアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを作成していくことを共通理解する。 <p><u>イ 小・中の連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の音楽・数学の専科による小学校6年生のT2での指導。 ・中学校の専科による小学校でのT2の指導の有効性が具体的に検証できる手立てを検討する。
<p>「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題に関わって</p> <p>①小規模特認校の推進 学校運営協議から提案のあった来年度の乳幼児学級の活動計画に「上之郷小学校の参観」について、実現するように働きかけをしていく。</p>
<p>②放課後子ども教室の設置・運営 3月は「詩吟・尺八」を実施する予定である。</p>
<p>③スポーツ少年団の参加率向上（運動好きな子の育成）（社会性の涵養） 交流会なし。 みたけスポーツ・文化倶楽部と学校と教育委員会で来年度のスポーツ交流会の実施について協議予定。</p>

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題

<p>①学力向上</p> <p><u>*算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着</u></p> <p>(具体的目標1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDTにおいて「技能」「知識・理解」が全学年、全国平均正答率+5ポイントをめざす。 <p>(達成状況)</p> <p>「技能」は全学年ともに全国平均正答率より5ポイント上回る。 「知識・理解」においては全国平均正答率が学校全体で、10ポイント上回る。</p> <p>(具体的目標2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5回の計算大会の平均点が全学年95点をめざす。 <p>(達成状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月現在の4回実施の計算大会で1年生と3年生が平均点が95点であった。一方、2回目と4回目の再テスト問題では、反復練習や個別指導により、課題を克服し、その結果どの児童も大幅に点数が伸びた。 <p><u>*「書く力」の着実な定着</u></p> <p>(具体的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CDTにおいて「書く能力」が全学年、全国平均正答率を上回る。 <p>(達成状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く能力」は全学年は難しかったが、全校で見えた場合、全国平均正答率をやや上回った。 ●低学年においては「書く能力」が確実に定着しているが、中・高学年で定着の度合いにばらつきがある。

<p>②体力向上</p> <p>・筋力・俊敏性・全身持久力の向上 (具体的目標)</p> <p>H28. 5のスポーツテストの結果と12月の結果において3つの種目が全学年全国水準を上回る。 (達成状況)</p> <p>・俊敏性は全学年、全国水準並みとなる。筋力は、5・6年女子以外は全国水準並みとなる。</p> <p>●全身持久力が課題である。</p> <p>●体力・運動能力にかかわる質問紙調査の結果、「体力に自信がもてない」「家人からスポーツを推奨されていない」と回答した児童が全校で3割いた。</p>
<p>③歯科保健活動</p> <p>*歯と口の健康を守る児童の育成 (具体的目標)</p> <p>H28. 10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざす。 (達成状況)</p> <p>・準県一位を受賞。連続11回目の受賞を果たす。</p> <p>●歯と全身の健康と関連させた指導を大切にすよう、歯科医・歯科衛生士より助言を受ける。</p>
<p>④防災教育</p> <p>*自分の命は自分で守る子の育成と上之郷小学校地区の防災意識の向上 (具体的目標1)</p> <p>・予告なしに緊急地震速報を流した時に、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする児童の姿 (達成状況)</p> <p>・登校時や下校時においても、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする姿が当たり前になってきた。</p> <p>●水平避難だけでなく垂直避難の意味を理解し、冷静に対応する姿を育てる。</p> <p>(具体的目標2)</p> <p>・学級活動や保健学習で「もし〇〇だったらどうしよう？」という課題の意味を理解し、正しく判断し、最善の方法を考えて行動する姿。 (達成状況)</p> <p>・各学年、年間2回の学級活動での防災学習だが、「課題→最善の避難の仕方を考える→実際に演習する→振り返る」の学習の流れを理解して学ぶ姿が低学年でも定着してきた。5年生の保健学習「怪我の予防」では1時間で基礎を学び、それを汎化させるために2時間の活動を仕組んだ。このことで、時と場に応じて対応することの大切さを子どもが実感できた。</p> <p>(具体的目標3)</p> <p>・町の防災訓練や学校主催の防災の行事に参加した地域住民にアンケートを取り、活動への参加満足度80%をめざす。 (到達状況)</p> <p>○防災クラブの児童が中心となり、2者選択形式のアンケートでシールを貼って集計した。このことで、活動への満足度を視覚的にとらえることができた。</p> <p>●地域住民の防災意識の向上・参画にかかわることを具体的目標とするのは難しい。</p>

⑤保・小・中の連携

*保・小の連携

(具体的目標)

・アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの有効性の検証・入学までに保育園で身に付けたことを小学校が確実に引き継いでいるかチェックし、小1プロブレムを解消する。

(到達状況)

・保・小で願う姿を明らかにして、それぞれの立場でカリキュラムが作成できた。また、スタートカリキュラムでは、保育園で大切にしている指導内容との類似点が明らかになった。体力向上を共通課題として、授業交流したことは連携を深めることで有効であった。また、園児を巻き込んだ生活単元の意図的な実践の積み上げは小1プロブレム解消につながると考える。

●「育ちの10の姿」の観点で保・小で願う姿やカリキュラムを精査していく必要がある。

*小・中の連携

小・中教職員の兼務による専門性を生かした教科指導の充実

(具体的目標1)

・算数と音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていく。

(達成状況)

意識調査の結果を見ると、音楽・算数ともに専門の先生からの指導に大半の児童が満足していることがわかる。

(具体的目標2)

・音楽では楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動した活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざす。

(達成状況)

・楽譜の読み方の指導の結果、回を重ねるごとに、楽譜の読み方意味を理解して合唱に生かそうとする子が増えてきたし、パート練習にも自信をもって取り組むようになってきた。

(具体的目標3)

・算数では一人一人の基礎基本の定着状況や課題を明らかにして指導することで、どの子もCDTの3観点が前年度より上回ることをめざす。

(達成状況)

・算数のCDTの結果は、学年として全国平均正答率より6ポイント高く、昨年と比べ大きく上回った。

●数学の専科の先生が中学校の校務の関係で連携した指導が難しい。

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題

①小規模特認校の推進

*小規模特認校の理解・啓発と児童の募集及び円滑な就学手続きの在り方

(具体的目標)

・小規模特認校制度を利用して他の校区から通学する児童が5～10名になることをめざす。

(達成状況)

・制度を利用して3名の児童が、平成29年度より通学する。

●町内に上之郷小学校以外の小学校は2校ある。伏見小学校は1クラスの児童数が概ね20数名であり、御嵩小学校は30名以上の児童が在籍する学級があるものの、県費非常勤講師や町費支援員等が配置され、きめ細かな指導体制がなされている。

そのため、本校の教育活動に賛同して通学を希望するというより、小規模校で我が子の困り感に寄り添った指導を期待し、上之郷小学校を希望するケースがある。

<p>②放課後子ども教室の設置・運営 (具体的目標1) 詩吟・尺八に親しみ演奏など進んで披露する姿 (達成状況) ・5月からの取組のおかげで、1月の詩吟の活動において、自主的に詩吟を披露する児童が見られた。また、夏休み前に盆踊りを学び、公民館主催の盆踊りに楽しく参加する児童が多くいた。</p> <p>(具体的目標2) ・英語活動に親しみ、英語で昔話を讀んだり、踊ったりする姿 (達成状況) 英語活動でゲームや英語による昔話や物語の読み聞かせを聞いたりすることで楽しく英語に触れ合えた。</p> <p>○本年度、15回実施。8団体+町AL Tが指導者。述べ71名が放課後子ども教室にかかわる。このことから見て、放課後子ども教室が地域に支えられていることが理解できるし、まさに、上之郷小学校が推進する「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」の一役を担っていることがわかる。</p>
<p>③スポーツ少年団の参加率向上 (具体的目標) ・上之郷小学校のスポーツクラブへの参加加入率を18%から25%をめざす。 (達成状況) ・参加加入率は25%となる。 ・御嵩スポーツ・文化倶楽部の協力により、スポ少との交流会が5回実施できたし、講師を招いてのタグラグビー、フェンシング体験も実施し、参加児童は楽しかったのアンケートに答えていた。参加率は全校の34%であった。 ●少年団への参加率向上でなく、スポーツを通して社会性の涵養を目的とすることが望ましい。</p>

(2) 成果物等

<p>8つの研究課題に応じて設定した具体的目標を達成するため毎月に様々な取組を行った。その内容を冊子としてまとめたものを成果物として報告する。</p>

(3) 今後の取組予定

「少人数のメリットを最大化させる方策」にかかわる5つの研究課題

<p>①学力向上 *算数における「技能」「知識・理解」の着実な定着 CDTの「技能」「知識・理解」において全国平均正答率を下回る児童の割合（技能：13%・知識：15%）を半減する取組を行う。</p> <p>*「書く力」の着実な定着 CDTの「書く能力」において全国平均正答率を下回る児童の割合（43%）を半減する取組を行う。</p>
<p>②体力向上 *全身持久力の向上 H29.5のスポーツテストの結果と12月の結果において全身持久力が全学年全国水準を上回る取組をする。</p> <p>*運動好きな子の育成 質問紙「体力に自信がもてない。」「家人からスポーツを推奨されない。」と回答する児童を半減する取組をする。</p>
<p>③歯科保健活動 *歯と口の健康を守る児童の育成 H29.10に予定されている県歯科医師会主催の歯科保健優良校候補校に応募し、実地審査で小規模校の部で県一位をめざす取組をする。</p> <p>特に以下の2点に力を入れる。 ・栄養指導の充実と食育に関する委員会活動の定期的な取組 ・基礎体力と歯と食育を関連付けた定期的な講話の位置付け</p>
<p>④防災教育 *自分の命は自分で守る子の育成 ・予告なしに緊急地震速報を流した時に、慌てず・冷静に・真剣にシェイクアウトする児童の姿（登下校を含めた学校生活全般）を深化させる取組をする。 ・学級活動や保健学習で「もし〇〇だったらどうしよう？」という課題の意味を理解し、正しく判断し、最善の方法を考えて行動できるための取組をする。 ・防災クラブの活動が児童や保護者の防災意識の向上につながるよう取組を工夫する。</p>
<p>⑤保・小・中の連携 *保・小の連携 「育ちの10の姿」の観点で保・小で願う姿とカリキュラムを捉なおすとともに、共通課題に基づく実践交流の積み上げと園児を巻き込んだ意図的・系統的な生活単元を実践し小1プロブレムを解消する取組をする。</p> <p>*小・中の連携 ・音楽に関わる児童の意識調査を継続的に実施し、指導改善することを通して、興味関心や意欲の向上を図っていく。 ・楽譜を読む力を身に付けると共に、パート練習を子ども同士で行うことを大切に活動を継続的に行うことで児童が声を重ねて合唱を楽しむ姿をめざす。</p>

「少人数のデメリットを最小化させる方策」にかかわる3つの研究課題

<p>①小規模特認校の推進 *小規模特認校の理解・啓発と児童の募集及び円滑な就学手続きの在り方 ・平成30年度、新1年生に3名程度他の校区から通学することをめざす。</p>
<p>②放課後子ども教室の設置・運営 ・詩吟や盆踊り、英語活動等の学びを地域で披露する姿 ・「地域に学ぶ学校・地域を愛する学校・地域に働きかける学校」を推進する運営を行う。</p>
<p>③H28「スポーツ少年団の参加率向上」をH29より「スポーツ交流」とする。 *運動好きな子の育成と社会性の涵養 ・スポーツ交流会・体験会への参加率を35%をめざす。 ・土日の過ごし方で、スポ少やその他の運動教室、習い事、スポーツ交流会等どれにも参加していない児童（全校の13%）を半減する。会・体験会への参加率を35%をめざす。</p>